

🍁 秋の街歩きレポート: 千駄木駅から上野公園へ

実施日: 2025年10月24日(金)

参加者: 10名

コース: 千駄木駅～谷中～上野公園

秋晴れを期待していたこの日、私たち 10 名は地下鉄千代田線・千駄木駅を出発し、東京の下町情緒あふれる街並みを歩く「街中ウォーキング」に出かけました。約 4.5km、15,000 歩の道のりは、高齢者にはやや長めでしたが、見どころ満載の充実した一日となりました。

🏯 歴史と文化に触れるコース

画像をクリックすると拡大します

全生庵(山岡鉄舟ゆかりの寺)からスタートし、まず訪れたのは指人形館。店内には歴代総理大臣の指人形がズラリと並び、なんと高市総理の人形もすでに登場していました。リアルな表情の人形たちに見入るだけでも楽しいのですが、今回は特別に**指人形劇のショートバージョン(6 演目)**も披露され、笑いの絶えないひとときとなりました。



続いて向かったのは、夕日の名所として知られる夕やけだんだん。階段の上から見下ろす谷中銀座商店街は、まるで昭和にタイムスリップしたかのような懐かしい風景。外国人観光客も多く、国際色豊かな賑わいを見せていました。



🎨 芸術と静寂のひととき

朝倉彫塑館では、彫刻家・朝倉文夫の長女である響子氏の生誕 100 年記念展が開催中。70 年以上にわたる創作活動の変遷を辿る展示は、芸術の奥深さを感じさせてくれました。



その後訪れた谷中霊園では、広大な敷地に驚かされつつ、徳川慶喜の墓など歴史的な人物の足跡に触れることができました。

☔ 雨宿りと昼食: 東京芸術大学の学食にて

ウォーキングの途中、思いがけず雨に見舞われました。昼食場所を探していたところ、ふと東京芸術大学の学食が思い浮かび、雨宿りを兼ねて立ち寄ることに。



寛永寺・根本中堂での特別公開

今回のウォーキングの締めくくりは、静寂に包まれた上野寛永寺。ちょうどこの日は、根本中堂の天井絵「叡嶽双龍」が特別公開されており、荘厳な空間に浮かび上がる二頭の龍が、まるで天を舞うかのような迫力で私たちを迎えてくれました。

この天井絵は、現代の絵師によって描かれたもので、伝統と革新が融合した見事な作品。龍の力強さと繊細な筆致に、参加者一同しばし足を止め、静かに見入っていました。



帰路

上野公園を散策し、地下鉄日比谷線・上野駅から地元の新越谷駅へと戻りました。途中、雨に見舞われる場面もありましたが、それもまた秋らしい風情の一部。参加者一同、笑顔で一日を締めくることができました。

歩数と距離

- ・ 歩数: 約 15,000 歩
- ・ 距離: 約 4.5km
- ・ 所要時間: 約 4 時間(休憩・鑑賞含む)

今回の街歩きは、歴史・文化・芸術・商店街の賑わいと、東京の多様な顔を一度に楽しめる贅沢なコースでした。次回もまた、季節を感じるウォーキングを企画したいと思います。



スライドショー [ここをクリック](#)

企画: 麻生裕通、藤原康子
文 : 大野義輝